

2008 年度 小委員会活動成果報告

(2009 年 1 月 26 日作成)

小委員会名	電磁シールド技術指針小委員会	
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (電磁環境運営委員会)	主 査 名：山本 恭 就任年月：2007 年 4 月 委員長名：井上 勝夫 主 査 名：岡崎 靖雄
設 置 期 間	2007 年 4 月 ～ 2009 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築電磁環境に関する指針のうち、電磁シールドに係る技術指針について審議を行い、指針の作成を行う。 初年度 <ul style="list-style-type: none"> ・ 電磁シールド技術指針の第 1 次修正原稿内容を見直し、第 2 次原稿作成 ・ 電磁環境関連用語の取りまとめと建築電磁環境技術指針全体の検討 2 年度 <ul style="list-style-type: none"> ・ 電磁シールド技術指針の第 2 次原稿の内容を審議し最終原稿にまとめる。 ・ 電磁環境関連用語の取りまとめと技術指針の用語の整合。 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有 主査：山本恭 (大林組) 幹事：遠藤哲夫 (大成建設) 委員：亀井義宣 (竹名工務店)、高橋 好明 (光洋産業)、 星野康 (日本板硝子環境アメニティ)、奥野功一 (間組)、中村 裕介 (奥村組)、 久保知也 (フジタ)、菊池 真人 (技研興業)、木谷 泰久 (巴コーポレーション)	
設置 WG (WG 名：目的)	WG は設置していない。	
2008 年度予算	20,000 円	ホームページ公開の有無：なし 委員会 HP アドレス：なし

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 電磁シールド技術指針の最終原稿については、ほぼ目標を達成した。 2. 電磁関連用語については、運営委員会内各小委員会の意見を取り入れた。 また、最終原稿の用語を検討したが、さらに検討を加える必要がある。
委員会活動の問題点・課題	1. 2.

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

* 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

2008 年度 小委員会活動 自己評価

(~~中間年度評価~~・最終年度評価)

総合評価 (4段階評価)	A	B	C	D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>1. 電磁シールド技術指針については、総則、企画・基本計画、設計、施工、計測・評価の各ステップで必要となる指針事項を最終原稿として取り纏めることができた。</p> <p>2. 電磁関連用語については、運営委員会内各小委員会で電磁関連用語（案）を配布し意見を取り入れた。また、最終原稿の用語の検討を加えたが、全体を通してまとめるには、いまして検討を加える必要がある。</p> <p>3. 電磁シールド技術指針の上位指針として位置付けられる建築電磁環境全体の技術指針（案）を作成した。運営委員会の WG で横断的な検討が加えられているが、取り扱いについて結論はまとまっていない。</p>			

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。